

Fresh Talk

～ フレッシュトーク ～



地域おこし協力隊（雄武町学校 ICT 支援員）

村松 遼太さん

「子どもたちが日常的にICT機器を使える環境を整えることが目標です。」と話すのは今年の4月から、地域おこし協力隊の学校ICT支援員として雄武小学校で勤務する千葉県出身の村松さん。

前職では、ICT支援業務などに携わっていたが業務内容は研究員の側面が強く、子どもたちに寄り添うような仕事をしたくないと思い転職を決意。就職先を探し始めたときに、雄武町の医療や子育てへの手厚い支援をみて、子どもを大切にしようとしている姿に共感し、応募することを決めたと話してくれました。

「現在は、ICT環境の整備と学校内での技術的助言などが主な仕事となっています。残念ながら各学校のICT環境はまだ整っておらず、多くの下調べや作業時間が必要です

が、一日でも早く子どもたちが日常的にICT機器を使える環境を整えられるよう頑張ります。」

「ICT環境の整備には、多くの機器やソフトウェアの導入が欠かせませんが、それらが完了した先には、これまでの学習環境からは想像もつかないほどの新しい学びのスタイルになっています。未来を生きる子どもたちが、どんなICT機器を活用して、どんな学びをしているのか、ぜひ見に来てください。」と今後の活動について力強く話してくれました。

趣味について聞いてみると「妻と二人暮らしをしている間、夕食の準備が担当だったこともあり、料理が趣味であるとともに特技です。得意料理はぶり大根ですね。」ゆくゆくは雄武町特産の鮭を使った料理もマスターしたいと話してくれました。

※ICT…情報通信技術の略

雄武町民憲章（町民の誓い）

雄武町民わたしたちは、オホーツクのきびしい自然を生かし、父祖・先人の労苦を感謝しながら、郷土愛にみちた町づくりと、ひとりひとりのしあわせのため、一すこやかに、なごやかに、まめやかに一 励まし合い、希望と自信をもって、生きがいある生活につとめ、たしかな未来につながる信条をかかげて、朝夕守りとおすことを誓い合います。

- 一、自然を生かし、住みよい環境をつくります。
- 一、きまりを守り、明るい社会をつくります。
- 一、ともに助け合い、楽しい職場をつくります。
- 一、元気に働き、豊かな家庭をつくります。
- 一、希望に生き、たくましい雄武町民となります。

昭和 46 年 3 月 19 日制定

◆編集後記

Editor's note

▼新型コロナウイルス感染症の影響から、毎年実施されていた産業観光まつりの中止や学校の運動会の延期など、イベントが軒並み制限されている状況です。予防対策では皆様のご協力が必要となります。ご不便おかけしますがよろしくお願いいたします。(松井)

▼今月号の表紙の皆既月食の写真はいかがでしょうか。今年、一番月が地球に接近する「スーパームーン」と皆既月食が重なるのは24年ぶりとのことで、今回はカラーで表紙をお届けさせていただきました。次に同じ現象が起こるのは12年後とのことで、地球の神秘を感じますね。(結城)